

西脇市保育士等キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援分野）

受講者感想（2022. 5. 28）

- 「毎日保護者に出会っている」「専門職」という言葉も強く響き、私たちができることを保護者と共に考えていきたいと思いました。保育者と保護者の間にあるズレもよく理解しておかないといけないと感じさせられました。またドキュメンテーションや送迎時の会話などを、あらためて大切にしようとして今回の研修で思いました。
- 社会状況が変わることで、保護者や子育てに対する支援も変わってくるのが分かり、昔と今では視点が違ってくるのが分かりました。認定こども園として行える支援は「子どもの最善の利益」を目指して行うものであること、保育教諭として保護者の支援は、法定職務であり義務であることがよく分かりました。
- 自分が保護者の方から相談しやすい人なのか、あらためて考える良い機会になりました。様々な人がいて様々な生活形態の家庭が増えていく中で、保護者や子供の気持ちに寄り添い安心できる環境を提供できるように、園全体で取り組んでいきたいです。また、園だけでなく様々な関係機関と連携し、保護者を支える体制作りの大切さも感じました。
- 自分が想像している以上に保護者には、様々なしんどさや困り感があることが分かり、自分で決めつけないでしっかりと状況を把握して事実を聞き、できるだけ支援していきたいと思います。日々の保育の中で保護者支援の負担も大きく、今後も大きな問題、課題だと思いますが、義務であることを忘れずに保護者に寄り添っていける保育者でありたいと思います。
- グループワークでは、園の職員同士で話し合う機会があり、自分の保育を振り返ったり、相手が大切にしていることを聞いたりして、色々な考え方を知ることができました。自分の価値観や子育て観を無意識のうちに保護者に対して押し付けていないかを振り返りながら、保護者との日々のやり取りや活動を通して信頼関係を築いていきたいです。
- 「ストレングス」という言葉を知り、普段の保育の中でしんどくなった時に「肯定的に現状をとらえる」ということを思い出して気持ちを切り替えてこれからも頑張りたいと思いました。
- 子どもを取り巻く家庭環境や子どものもつ課題に目を向け、保護者自身の育児不安や育児困難が少しでも和らぎ、心の安定に繋がるよう支援していく大切さを学びました。笑顔を絶やさず、日々の保育の取組や子どもの成長を保護者と共に喜び合える関係を大切にしていきたいと思います。
- 毎日の保護者との関わりの中でどこまで踏み込んだ話をしたらいいのか、きっと悩みを抱えておられるだろうけど、どのようにかかわっていけばいいのか、私自身に自信がなく迷っていました。今後普段からコミュニケーションをとりながら、話しやすい環境作りを常に意識していきたいと思います。
- 子どもや保護者の性格や環境はみんな違うので、まずは肯定的に受け止めるように心がけ関係を築きたいと思いました。今日の研修で保育者としてできることを見つめ直すことができました。

○「自分の考え方が当たり前ではないことを頭に置いておくべき」と聞き、自分も自分の子育て観を知らぬうちに保護者に押し付けてしまっていたこともあるかもしれないと思い、気を付けようと思いました。保護者が相談しやすいように笑顔で保護者の気持ちに寄り添っていきたいと思います。

○保護者よりも年齢が若く、子育て経験も無い中で、かかわり方を提示したりすることに不安もありましたが、保護者を認める言葉がけをし、努力を支える姿勢が重要だとあらためて分かりました。保護者を育てることが子どもを支えることになることと気づいたので、保護者支援も大切にしていきたいと思いました。

○保護者支援・子育て支援という言葉は、保育のなかではどうしても離せないもので、信頼関係の中、行ってきたつもりでした。あらためて、意義について学んだり相談援助を文面で知ったりすると、これが承認で、これが行動提示でなど、どのような動きを行っているのがよく分かりました。

○今日の研修で保育士の立場からの偏った見方で保護者に接するのではなく、保護者のことを理解しなければならないということがとても印象に残りました。承認や支持、解説など保育指導技術をきちんと理解し、うまく活用しながら子どものよりよい育ちに繋がる保護者へのかかわりができれば良いなと思いました。

○保護者支援・子育て支援の意義を学ぶことで、支援の全体像をつかむことができたと思います。自分が最も気を付けて行っていることや今後積極的に行っていきたいこと、自分の得意不得意とすること等が分かり、自分の中で目標をもって保育にかかわっていこうと思いました。

○グループワークで、保護者との対応で心がけていることを話し合う中で、あらためて文字で書き出すことで、自分自身が以外と多くのことを心がけていることが分かりました。また、他の人の意見を聞いて、そういう視点も大切だなと気付くことができ、これからの保育に活かしていこうと思いました。

○、保護者の不適切な行動等を許容するのではなく、保護者のありのままの姿を理解し受容することが大事であることも分かりました。日常的にこまめに声をかけたり、子どもの成長を喜び合ったり、園の状況を伝え、安心感・信頼感を築けるようにしていきたいです。また保護者が信頼して相談してもらえよう、日頃の保育やかかわりを大事にしたり、様々な知識を身に付けたりしていきたいです。